

2026年度（令和8年度）
大学院薬食生命科学総合学府
学生募集要項

秋季（2026年10月）入学

食品栄養科学専攻 博士後期課程
環境科学専攻 博士後期課程
薬食生命科学専攻 博士後期課程

※記載内容に変更が生じた場合は、随時、ホームページにて周知します。

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

目 次

	ページ	
目次	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1 募集人員及び修業年限	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 出願資格	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3 選抜区分	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
4 入試日程	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
5 出願資格審査・出願手続等	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
6 出願審査書類	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
7 出願書類	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
8 選抜方法	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
9 試験日程および会場	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
10 合格発表	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
11 出願上の留意事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
12 その他	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
薬食生命科学総合学府の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	9
食品栄養科学専攻の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
環境科学専攻の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
薬食生命科学専攻の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
食品栄養科学専攻 研究室案内	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
環境科学専攻 研究室案内	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
薬食生命科学専攻 研究室案内	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
試験会場案内図	・・・・・・・・・・・・・・・・	18

1 募集人員及び修業年限

専攻	募集人員	標準修業年限
食品栄養科学専攻	若干名	3年
環境科学専攻	若干名	3年
薬食生命科学専攻	若干名	3年

注1：募集人員には社会人特別選抜（若干名）及び外国人特別選抜（若干名）を含みます。

注2：各専攻の研究室の研究内容等については、本要項の研究室案内のページ、大学院薬食生命科学総合学府ホームページ及び大学院学府案内2026-2027（別途配布）を参照してください。

注3：「博士課程の修了要件は、大学院に5年（博士前期（修士）課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む）以上在学し、36単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本大学院の行う博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。」（静岡県立大学大学院学則より抜粋）

2 出願資格

2026年9月末日をもって、下記(1)～(7)のいずれかに該当、あるいは該当する見込みの者。

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者（法第102条第1項）
- (2) 外国において修士の学位や専門職学位に相当する学位（施行規則第156条第1号）
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位に相当する学位を授与された者（施行規則第156条第2号）
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（施行規則第156条第3号）
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第156条第4号）
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学学長が修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本学学長が、大学院の個別入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年9月30日までに24歳に達する者

（法：学校教育法、施行規則：学校教育法施行規則）

下記のいずれかに該当する者は、出願資格審査を行います。

- ・出願資格(2)～(7)のいずれかに該当する者
- ・社会人特別選抜での出願を希望する者

当該年度よりも前に出願資格審査で出願を認められた者も、改めて出願資格審査を受ける必要があります。

期日までに提出がない場合には、**いかなる理由があっても出願できません**のでご注意ください。

3 選 抜 区 分

《一般選抜》

出願資格(1)～(7)のいずれかに該当する者

《社会人特別選抜》

出願資格(1)～(7)のいずれかに該当し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者で、社会人特別選抜出願資格の審査を通過した者は、社会人特別選抜として出願できます。

- ① 社会人として実務経験を3年以上有する者
- ② ①のほか、企業、研究機関等に勤務する者で、当該勤務先の承認を得ている者
- ③ その他学長が特に認める者

※入学後も企業、研究機関等で勤務を継続する者は、当該勤務先との間で問題が生じないように留意してください。

《外国人特別選抜》

(食品栄養科学専攻/環境科学専攻)

出願資格(1)～(7)のいずれかに該当し、かつ、日本国籍を有しない者(日本国永住許可を得ている者を除く)で、教育を受ける目的をもって入国した者または入国する者は外国人特別選抜として出願できます。

(薬食生命科学専攻)

出願資格(2)～(7)のいずれかに該当し、かつ、日本国籍を有しない者(日本国永住許可を得ている者を除く)で、教育を受ける目的をもって入国した者または入国する者は外国人特別選抜として出願できます。

4 入 試 日 程

事項	日程・試験会場等
出願資格審査	2026年6月 8日(月)～6月12日(金) 16時必着
出願期間	2026年7月13日(月)～7月17日(金) 15時必着
試験日・会場	2026年8月20日(木) 草薙キャンパス
合格発表	2026年9月2日(水) 10時

5 出 願 資 格 審 査 ・ 出 願 手 続 等

(1) 出願資格審査・出願期間

上記に記載の通り。窓口受付時間：平日9:00～12:00、13:00～16:00
(ただし出願受付最終日は、15:00まで(郵送も含む))

(2) 申請方法

角形2号の封筒(縦332mm×横240mm)に該当する書類を入れ、学生部入試室宛に提出してください(封筒の表書きには「大学院薬食生命科学総合学府 秋季入学 ●●専攻 出願書類(または出願資格審査書類) 在中」と朱書してください)。**●●**には、志願する専攻名を記入してください。

郵送の場合は、**簡易書留郵便**または**簡易書留速達郵便**により提出してください(期限厳守)。

提出先：〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学学生部入試室

※証明書が1部しか発行されない等の理由で、卒業証明書や成績証明書の原本返却を希望する場合は、本学ホームページから「証明書【原本】返却願」を印刷し、必要事項を記入のうえ同封してください。(https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/media/genpon-henkyaku.pdf)

6 出願資格審査書類

出願資格審査の対象者（2ページ参照）は、下記の申請期間内に、指定する提出書類を郵送または持参により学生部入試室まで提出してください。期日までに提出がない場合には、いかなる理由があっても出願できませんのでご注意ください。

審査結果については、後日、申請書の住所宛に郵送にて通知します。出願期間の1週間前になっても到着しない場合は入試室へ連絡してください。

提出書類	説明（「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること）
a 出願資格審査申請書	所定の様式 ◎申請に先立って、必ず志望講座・研究室主任教員に連絡をとること
b 住民票 ※外国人留学生のみ	日本に在住している外国人は、市区町村長が発行する住民票（ 在留資格、在留期間が明示されているもの ）を提出すること。 ※在留カードのコピーは不可 ただし、日本に在住していない外国人は、旅券の写しまたは国籍を証明する書類を提出すること。
c 修士課程修了（見込） 証明書【原本】 *1 *2	出身大学（院）において作成、 厳封したもの を提出すること。 ※日本語または英語以外で表記されている場合は「日本語訳または英語訳」を添付
d 成績証明書【原本】 *1 *2	学部と修士課程 について、出身大学（院）においてそれぞれ作成、 厳封したもの を提出すること。 ※日本語または英語以外で表記されている場合は「日本語訳または英語訳」を添付 ※大学等に編入した者は、編入前の学校の成績証明書も提出
e 研究歴・研究内容の要旨*1	A4判縦、様式任意（日本語または英語）
f 研究論文目録 *1	A4判縦、様式任意（日本語または英語）
g 研究論文 *1	「最終学歴の学位論文」の写しとその要旨（2000字程度、A4判縦：横書）。学位論文がない者は、その他の研究論文

*1 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*2 修士の学位に相当する学位を有さない者は、最終学歴における証明書を提出してください。

【外国の大学を卒業（見込）の方は下記をご確認ください】

- ・ cが提出できない場合は、出願資格を証明する書類（授与された証書等）の【原本】を提出してください。
- ・ c, d及び授与された証書等が日本語または英語以外で表記されている場合は「日本語訳または英語訳」を添付してください。
- ・ 外国の大学で作成したものについては、厳封されていなくても結構です。

◎社会人特別選抜での出願を希望する者は、次のhまたはiの書類も提出してください。

追加提出書類	説明
h 受験許可書	勤務先に在籍のまま入学を希望する者は、勤務先の所属長または代表者が作成した受験許可書。宛名は「薬食生命科学総合学府長」、所属長または代表者の印は「公印」を使用してください。（氏名、所属先、在職期間を明記：A4判縦 様式任意）
i 勤務実績証明書	在職していない者は、実務経験期間について勤務先の所属長または代表者が証明した勤務実績証明書。宛名は「薬食生命科学総合学府長」、所属長または代表者の印は「公印」を使用してください。（氏名、所属先、在職期間を明記：A4判縦 様式任意） ※薬食生命科学専攻に出願する者は、こちらの書類を選択することはできません。 h 受験許可書を提出してください。

7 出願書類

※事前審査で提出済みの書類は再提出不要

出願書類		説明（「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること）
a	入学願書 (進学願書)	所定の様式 ◎出願前に、全ての出願者は、志望講座・研究室主任教員に連絡を必ずとること
b	写 真 票	所定の様式。写真（4.0cm×3.0cm）を貼付すること。
c	修士課程修了（見込） 証明書【原本】 *3	出身大学（院）において作成、 厳封したもの を提出すること。 ※出願資格(2)～(7)に該当する者については、別途指示することがある。
d	成績証明書（学部、修士） 【原本】 *3	学部と修士課程 について、出身大学（院）においてそれぞれ作成 厳封したもの を提出すること。 ※出願資格(2)～(7)に該当する者については、別途指示することがある。 ※大学等に編入している者は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。
e	学位論文等 *3	「 修士論文 」の写し及び その要旨 をそれぞれ 1部 ずつ提出すること (2026年9月修士課程修了見込みの者は、 研究経過の要旨 でも可)。 ※出願資格(6),(7)に該当する者については、研究歴、研究内容の要旨、研究論文目録及び論文別刷（3編まで）をそれぞれ1部ずつ提出すること。 ◎要旨は2000字程度 とする。（A4判縦：横書）
f	入学検定料	30,000 円 郵便局の 普通為替証書 に限る。 購入後、何も記入しないこと。
g	返信用封筒 (受験票送付用)	市販の長形3号の封筒に、住所・氏名・郵便番号を明記し、 460円分の切手を貼付 すること。2026年8月7日（金）までに受験票が届かない場合は、入試室まで連絡すること。
h	住 所 票	所定の様式。住所・氏名を明記すること。「様」は消さないこと。
i	【食品栄養科学専攻のみ】 英語能力判定テスト ・ TOEIC® L&R 公開テスト ・ TOEIC® L&R IPテスト ・ TOEFL iBT® いずれか1つの成績 【原本】 *4	<ul style="list-style-type: none"> ● TOEIC® L&R 公開テストの場合（有効期限はありません） 「Official Score Certificate(公式認定証)」の原本を提出する。 ● TOEIC® L&R IPテストの場合（有効期限はありません） 「スコアレポート(個人成績表)」を提出すること。 ● TOEFL iBT®の場合（入試実施日から過去2年以内に受験したものに限る） 「Official Score Reports(公式スコアレポート)」を米国ETSから本学へ直送する手続きを行うこと。手続き完了後にスコアの情報が本学に送信されるため、このデータが確認できた時点でスコアの受理とする。 <p>※原本は受験票送付時に返却します ※受験してから英語スコアの交付まで相当期間を要するので、出願期間に留意のうえ（間に合うよう）早めに準備すること</p>

*3 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*4 TOEICおよびTOEFL iBTはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けまたその承認を得たものではありません。

【外国の大学を卒業・修了（見込）の方は下記をご確認ください】

- ・ c, d及び授与された証書等が日本語または英語以外で表記されている場合は「日本語訳または英語訳」を添付してください。
- ・ 外国の大学で作成したものについては、厳封されていなくても結構です。

◎出願時に日本国外に在住の者は、次の書類を併せて提出してください。

経費支弁能力を 証明する書類	出願者は、自身の留学予定期間中に必要となる経費について十分な支弁能力があることを、以下の書類により立証して下さい。 (出願者本人が経費支弁者となる場合) ・ 経費支弁計画書（所定の様式） ・ 支弁の裏付けになる書類（本人の預金残高証明書等） (出願者本人と経費支弁者が異なる場合) ・ 経費支弁計画書（所定の様式） ・ 支弁の裏付けになる書類（預金残高証明書等） ・ 経費支弁者と出願者との親族関係を証明する書類
-------------------	---

8 選抜方法及び配点

食品栄養科学専攻

入学者の選抜は、口頭試問の成績、英語能力判定テストのスコア（TOEIC® L&R 公開テスト、TOEIC® L&R IPテスト、またはTOEFL iBT®いずれか1つの成績）、成績証明書、学位論文または研究経過の要旨を総合し、選抜ごと（一般選抜、社会人特別選抜及び外国人特別選抜）に行います。

①英語：100点

TOEIC®は730点以上を100点、TOEFL iBT®は80点以上を100点として、スコアを100点満点に換算します。ただし、TOEIC® 400点、TOEFL iBT® 40点に満たない場合は、他の試験の得点にかかわらず不合格とします。

②口頭試問：100点

口頭試問の得点が60%に満たない場合は、他の試験の得点にかかわらず不合格とします。

【海外在住者】出願受付期間前に、事前に志望指導教員に相談し、試験当日の良好な通信環境を準備できる場合に限り、オンラインによる口頭試問を認めます。

環境科学専攻

入学者の選抜は、出願書類、学力検査（科学英語）、口頭試問の結果を総合し、選抜ごと（一般選抜、社会人特別選抜及び外国人特別選抜）に行います。

【海外在住の外国人】出願受付期間前に、事前に志望指導教員に相談し、試験当日の良好な通信環境を準備できる場合に限り、オンラインによる口頭試問を認めます。なお、オンラインの場合は筆記試験の科学英語は課さず、英語でのプレゼンテーション・質疑応答を課し、科学英語の能力を評価します。

薬食生命科学専攻

入学者の選抜は、学力検査（TOEIC® L&R IPテスト、スコアを200点満点に換算）、成績証明書、学位論文または研究経過の要旨及び口頭試問の成績（100点）を総合し、選抜ごと（一般選抜、社会人特別選抜及び外国人特別選抜）に行います。

※TOEIC® L&R IPテストの試験結果は本学府の入学試験にのみ有効であり、TOEIC® L&R IPテストのスコアレポート（個人成績表）は受験生へは提供しません。

9 試験日程および会場

(1) 試験日時

食品栄養科学専攻

月	日	時	間	科目等
2026年	8月20日			口頭試問
（木）		受験票発送時に通知します		

※「口頭試問」について

- ・研究のプレゼンテーションを中心に研究能力を評価します。

環境科学専攻

月	日	時	間	科目等
2026年	8月20日	10:00	～11:30	科学英語
		(90分)		
（木）		受験票発送時に通知します		口頭試問

※「科学英語」について

- ・一般的な英和辞書一冊の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書の持ち込みは不可とします。
- ・外国人留学生は英語で出題した問題を英語で解答する方法も選択できます。

※「口頭試問」について

- ・研究のプレゼンテーションを中心に研究能力を評価します。

薬食生命科学専攻

月	日	時	間	科目等	
2026年	8月	20日	(木)	9:00～11:30 (150分)	英語 (TOEIC® L&R)
				13:00～	口頭試問

※「英語 (TOEIC® L&R)」について

- ・本学大学院試験会場でTOEIC® Listening & Reading IPテストを行います。
- ・試験時間には、説明時間 (約30分) を含みます。
- ・辞書等の持ち込みはできません。

(2) 試験会場

静岡県立大学 草薙キャンパス (※本冊子の18ページ参照)

10 合格発表

2026年9月2日 (水) 10時

- (1) 合格者の受験番号は本学ホームページ (<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/>) にて掲載します。ただし、合格通知書の送付をもって正式通知とします (電話等による照会には一切応じません)。
- (2) 合格通知書は、出願時に選択した方法 (郵送または入試室での受け取り) にてお渡しいたします。
- (3) 所属研究室は合格通知書に記載されます。

11 出願上の留意事項

- (1) 出願資格審査の提出書類および出願書類のうち「所定の様式」は、本学ホームページ (入試情報) に掲載のPDFファイルを印刷したものを利用してください。 (<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/>を参照)。
- (2) 出願書類に不備のある場合は、受理しないことがあります。
- (3) 出願書類受理後の書類の変更は認めません。
- (4) 出願書類等に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。
- (5) 一度受理した出願書類および入学検定料は返却しません。
- (6) 過去の入学試験問題については、環境科学専攻「科学英語」の問題のみ、学生部入試室 (平日の9時から17時まで※昼休みを除く) または本学図書館で閲覧することができます。
本学図書館の開館日時等の詳細は下記にて確認してください。
【図書館】 TEL: (054) 264-5800 (草薙キャンパス)
URL: <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/library/>
- (7) 入学志願者で、身体に障がい等 (障がいの程度は学校教育法施行令第22条の3の規定に該当するもの) があり、受験上特別な配慮を要する者は、以下の日時までに入試室へ必ず事前照会してください。
・2026年6月12日 (金) 16:00まで

12 その他

(1) 入学手続等について

合格者に対して、「入学手続要項」を送付します。概要は以下のとおりです。

ア 入学手続

- (ア) 受付日【持参の場合】※郵送による受付日は入学手続要項送付時にお知らせします。
2026年9月11日 (金)

(イ) 主な提出書類・納付金

a 宣誓書・保証書 b 住民票（静岡県内の者のみ） c 写真

d 入学金 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2026年4月入学者実績：静岡県内の者141,000円・静岡県外の者366,600円

※注1：「静岡県内の者」とは、本人または本人の配偶者若しくは1親等の親族が、2026年9月1日において、引き続き1年以上の期間静岡県に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

※注2：2026年度中に入学金が改定された場合には、改定後の入学金が適用されることとなります。

※注3：本学大学院薬食生命科学総合学府・博士前期（修士）課程修了見込みの者で、引き続き本博士後期課程に進学するものについては入学金不要です。

e 保険料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2026年4月入学者実績：3,670円

f その他諸経費 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

イ 授業料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2026年4月入学者実績

後期授業料（入学時に納付）	267,900円
次年度前期授業料（4月に納付）	267,900円
合計（授業料年額）	535,800円

注：年額一括納付はできません。また、2026年度中または入学時に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新たな授業料額が適用されます。

(2) その他参考事項

ア 日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金について

合格者に対して、合格通知書送付の際に貸与希望を確認します。

イ 授業料等の減免について

この制度の詳細については、「入学手続要項」にてご確認ください。

また、災害被災者の場合は、申請により授業料以外に入学金も免除されることがあります。

注：日本学生支援機構奨学金及び授業料等の減免の詳細については、学生部学生室に照会してください（TEL (054) 264-5009）。

ウ 長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している、育児・介護等を行う必要がある等の事情により、標準的な修業年限での修了が困難な者に限り、所定の在学年限の範囲内で修業年限を延長して教育課程を履修することを認める制度です。この制度の利用により、授業料については、標準修業年限分の総額を長期履修が認められた年数で分割して納入することができます。詳細については、学生部学生室に照会してください（TEL (054) 264-5009）。

大学院薬食生命科学総合学府の概要

わが国が世界を先行する超高齢社会においては、健康増進によって疾病の一次予防を図るとともに、疾病があったとしてもその進行を食い止め、寿命に至るまでの生活の質保証が望まれます。また、社会的負担軽減のためにも、「健康寿命」と「寿命」の間隔をいかに短縮するかが重要な課題となっています。この課題に対する根本的な解決のためには、「食品栄養科学・環境科学」と「薬学」の両面から「健康科学」の学問分野を拓く研究者、およびその成果を実践できる高度専門職業人と指導者の養成が望まれています。この時代のニーズに合った流動性の高い大学院の創成、すなわち幅広い専門教育を受けられるような教育の学際化、柔軟化を目的として、これまでの「生活健康科学研究科」と「薬学研究科」の教育組織を統合したものが、本学の自然科学系大学院「薬食生命科学総合学府」です。食品栄養環境科学研究院あるいは薬学研究院に属する教員が、それぞれの専門性を活かして学府の大学院学生の教育にあたります。

薬食生命科学総合学府は、「食・環境」の領域の食品栄養科学専攻と環境科学専攻、「薬」の領域の薬学専攻（4年制）と薬科学専攻に、薬食生命科学専攻（博士後期課程のみ）を加えた5専攻からなります。

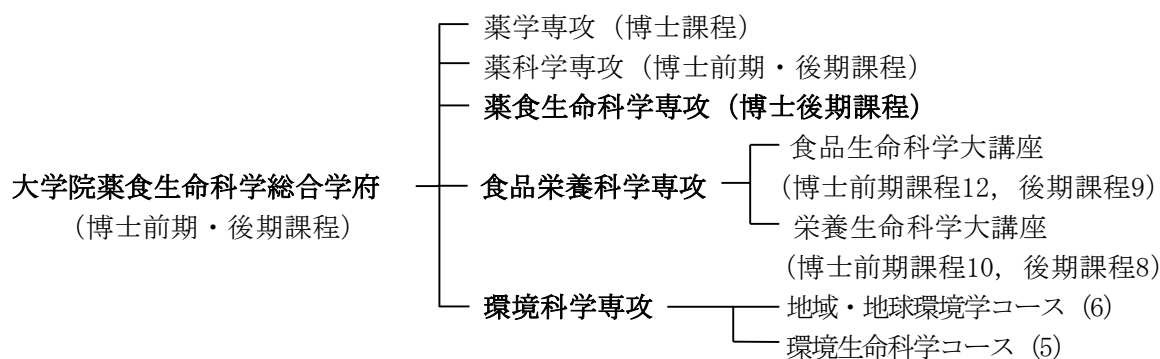
【学府の理念、目標】

健康増進や病気の予防・治療による健康寿命の延伸には、適切な医薬品や食品の開発・選択と、医薬品の適正使用が欠かせません。薬食生命科学総合学府では、健康維持の要因あるいは疾病の発症・進展のメカニズムを生命科学や物質科学の観点から解明し、健康社会の構築に貢献する意欲があり、そのための努力を惜しまない学生を求めています。薬学、食品栄養科学、環境科学等の最先端科学を通して国際的に貢献できる人材を養成します。

【求める学生像】

薬、食品、栄養あるいは環境に関する科学に貢献する意欲のある学生を幅広く求めます。そのためには、

- 1) 薬、食品、栄養あるいは環境に関する科学の習得と研究に必要な基礎学力
- 2) 国際的な科学コミュニティーへの参加に必要な英語能力が必要です。



注) カッコ内の数字は研究室数。

食品栄養科学専攻の概要

食品栄養科学専攻は食品生命科学大講座と栄養生命科学大講座からなり、食品生命科学大講座では、食品の化学成分、加工貯蔵技術、食の安全性のほか食品の機能性、ケミカルサイオロジー、遺伝子工学などの教育研究を重視しています。栄養生命科学大講座では栄養素の生体応答、疾病発症の分子機構と予防に関する研究とともに、病気の治療における栄養・食事の管理や、生活習慣病予防に関する基礎的、応用的、実践的研究に力点を置いています。

【ディプロマポリシー（学位授与の方針）】

「薬食同源」「食薬融合」を共通認識として、食と健康にかかわる「食品栄養科学」の学問分野を牽引し、グローバルに活躍できる研究者や専門領域におけるイノベーターの育成を教育目標としています。以下に掲げる資質を身に付け、所定の単位を修得し、博士論文の審査及び試験に合格した学生に博士（食品栄養科学）の学位が授与されます。

1. 高い国際対話能力
 - ・グローバルに活躍できる語学力を有し、高いコミュニケーション能力や国際感覚を身に付けている。また、研究成果を世界に発信する能力を身に付けている。
2. 倫理観
 - ・生命や人権に対して強い倫理観を持ち、研究活動においても健全な科学倫理を身に付けている。
3. 高度な知識と技術
 - ・食品科学や栄養科学に関する高度な知識や技術を有するとともに、それらを活用・応用する能力を身に付けている。
4. 独創性と問題解決能力
 - ・食品科学や栄養科学において独創的な研究を推進するための高度な研究能力と強い意欲を有している。
5. 自己研鑽
 - ・食品科学や栄養科学に関わる研究者として、常に自己を評価し、自らを高める意欲と能力を有している。

【カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

食品栄養科学に関する学位論文の作成を通じて専門分野における幅広い見識、問題解決の手法、論理的思考法、発展的課題の設定法、研究者に求められる倫理観を学び、食と健康に関する諸問題を解決し、実践で応用できるリーダーとして研究・教育機関、企業、保健・医療機関、行政等においてグローバルに活躍できる研究者、医療人や専門官の育成を目的として、教育課程を編成しています。

1. 研究の進捗状況を発表する学内のセミナーや国内外の学会発表を通して、研究の立案・遂行と問題解決の能力、論理的思考に基づく説明能力、発展的課題の発見能力に加えて、発信力、傾聴力、状況把握力を養う。
2. 演習科目、他専攻との共通科目を選択履修することにより、最先端の情報・知識から問題を解決して実践応用できる能力を育成し、食品栄養科学に関する高度な専門性を養う。さらに、他分野の情報を融合した創造力を身に付けることで、俯瞰的な視点を醸成する。
3. 研究の進捗状況を発表する学内のセミナーや科学英語の履修などを通して、コミュニケーション能力を養うとともに、自己研鑽のための意識を醸成する。
4. 倫理に関する講習会などに参加することで、研究者としての倫理観を育成する。

【アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）】

「急速に進む超高齢社会に対応し、食を通じた健康の維持・増進ならびに疾病の予防・治療に貢献するための高度な生命科学の専門知識と技術を身に付けた研究者及び高度専門職業人を育成する」という本専攻の目的を理解し、本専攻で学びたいという意欲を持つ次のような人を求めています。

1. 食品科学または栄養科学に関する高度な専門性を有し、さらにそれを高めるとともに優れた俯瞰力を養いたい人
2. 国際学術論文を発表する能力を養いたい人
3. 研究指導者に求められるリーダーシップを身に付けることを目指す人

環境科学専攻の概要

環境科学専攻は、地域・地球環境学コース、環境生命科学コースの2コースからなり、それぞれの視点から環境との共生・持続可能な社会の構築に資する人材の育成を目指しています。「地域・地球環境学コース」では、大気、水、森林、海洋など、各フィールドでの観測を通して、有害化学物質による汚染や、地域・地球環境の変動の分析・評価に関する研究を行っています。「環境生命科学コース」では、多彩な生命現象について学び、環境因子が生物やヒトの健康に及ぼす影響、そして生命を守るための予防方法について研究しています。また、未来の快適で豊かな環境の創造をめざして、微生物による有用物質の生産、人と環境に優しい材料の開発などについて研究しています。

【ディプロマポリシー（学位授与の方針）】

「地域・地球の環境を解析する」、「環境と共生し快適環境を創る」、「環境応答を究め生命を守る」ことを基本に、「環境」をより専門的かつ幅広い視野で鳥瞰し、環境問題の原因を科学的に解明するとともに持続可能な社会の構築をめざし、指導的役割を担える高度専門職業人・研究者の育成を教育目標としています。以下に掲げる資質を身に付け、所定の単位を修得し、博士論文の審査及び試験に合格した者は、博士（環境科学）の学位を授与します。

1. 高い国際対話能力
 - ・グローバルに活躍できる情報収集能力とそれに必要なコミュニケーション能力及び国際感覚を有し、研究成果を世界に発信する能力を身に付けている。
2. 倫理観
 - ・生命や人権に対して強い倫理観を持ち、研究活動においても健全な科学倫理を身に付けている。
3. 高度な知識と技術
 - ・環境科学に関する幅広い知識や技術を身に付けている。
 - ・環境科学の専門領域に関する高度な知識や技術を身に付けている。
4. 独創性と問題解決能力
 - ・環境科学に関する独創的な研究を推進するための研究能力と意欲を有している。
 - ・独立した研究者に求められる研究立案能力と遂行能力を身に付けている。
5. 自己研鑽
 - ・環境科学に関わる高度専門職業人、研究者として、常に自己を評価し、自らを高める意欲と能力を有している。

【カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

環境科学についての高度な専門知識や分析・解析技術を習得し、国内外の研究・教育機関や企業において、環境問題の解決に取り組むリーダーとして活躍できるよう、次に示す研究指導、カリキュラムを編成しています。

1. 環境科学の専門分野における研究指導を通して、高い研究立案能力と遂行能力を習得した人材を育成する。
2. 課題発見能力、プレゼンテーション能力を養うため、環境科学関連セミナーや演習を配置する。

【アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）】

専門的かつ幅広い視点から、環境問題の解決や持続可能な社会の構築に取り組む指導的立場の高度専門職業人・研究者を目指す次のような人を求めています。

1. 確かな基礎学力を有し、自ら学び、自らを成長させようとする意志を持つ人
2. 環境科学分野とともに異分野のことに対しても柔軟に横断的に、そして論理的に思考できる人
3. 環境問題を解決し、健康で安全な環境の創成を目指そうとする人
4. 環境科学に深い探求心を有し研究を行う意思を持つ人

薬食生命科学専攻の概要

薬食生命科学専攻は、薬学、栄養学、食品科学の知識を融合し、物質科学および生命科学的観点から薬食境界領域の先端的科学研究の担い手となる科学者・技術者を養成します。本専攻は、医薬の創製、疾病の成因の解明および薬物治療の適正化を目指す薬科学と食品の高次機能と食品成分の体内動態の解明により疾病予防および物質の安全性評価を目指す食品栄養科学を融合し、世界最高水準の「薬食生命科学」の創成を図るものです。

【ディプロマポリシー（学位授与の方針）】

薬食生命科学専攻では、薬食生命科学や健康長寿科学の研究領域でグローバルに貢献でき指導的役割を担える人材の育成を教育目標として掲げており、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対し博士（薬食生命科学）あるいは博士（生命薬科学）の学位を授与します。

1. 高い国際対話能力
 - ・薬食生命科学や健康長寿科学の研究領域においてグローバルに活躍できる情報収集能力とコミュニケーション能力を身につけている。
2. 倫理観
 - ・正しい倫理観と研究の課題解決能力を習得している。
3. 高度な知識と技能
 - ・薬学と食品栄養科学を基盤とした幅広い知識を理解し、論理的に思考できる。
4. 独創性と問題解決能力
 - ・専門領域における独創的な研究・開発を牽引するために必要な研究能力と意欲を持っている。
 - ・修得した知識と研究能力を基に、国際社会から地域社会までのグローバルな視点で社会に貢献できる能力と姿勢を持っている。
5. 自己研鑽
 - ・薬食生命科学という学際融合領域に関わる研究者として、常に自己を評価・省察し、さらに自らを高める意欲と能力を身につけている。

【カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

薬食生命科学という学際融合領域の学問を習得するため、薬学、栄養学、食品科学を統合的に捉え、薬食生命科学領域の研究を通して、健康長寿科学を遂行するチャレンジ精神と優れた俯瞰力を有し、独創的な研究・開発を牽引するリーダーとして、グローバルに活躍できる知識、研究力、正しい倫理観をもつ研究者や高度専門職業人を養成するために、以下のようなカリキュラムを編成しています。

1. 倫理観を養い、薬食生命科学領域における高度な知識を習得した人材を育成する。
2. 薬食生命科学の演習科目、実験科目の履修により、優れた研究能力を養う。
3. 国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を培い、国際対話能力の育成をはかる。

【アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）】

「薬食融合」という共通認識を基に、薬学、栄養学、食品科学の知識を統合し、物質科学的及び生命科学的観点から薬食境界領域の薬食生命科学における先端的科学研究を通して、健康長寿社会への貢献を目指す次のような人を求めています。

1. 「健康寿命」を延ばすための「薬食生命科学」の学問領域に関心が高く、修得した教育研究の成果を、社会に還元することに意欲がある人
2. 「薬食生命科学」の専門分野の修得に必要な薬学、栄養学、食品科学、あるいは生命科学などの学問領域の基礎学力・研究の能力を備えている人
3. 国際社会から地域社会までの社会貢献を視野に入れたグローバルな思考ができる人

静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府研究室案内 [I]

専攻名	食品栄養科学専攻	講座名	食品生命科学大講座
-----	----------	-----	-----------

(2026年4月現在)

研究室名	担当教員 (電話番号) *1	主な研究内容
食品分析化学	教授 博(農) 熊澤 茂則 (5523)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 植物や食品中の生理機能成分の分析化学研究 ○ 食品成分の生理活性評価研究 ○ 食品成分のメタボリックプロファイリング研究
*2 ケミカルバイオロジー	准教授 博(農) 鮒 信学 (5552)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天然有機化合物の生合成 ○ 代謝工学的手法による有用物質の微生物生産 ○ ゲノム情報を基盤とした有用酵素の探索
食品工学	教授 農博 下山田 真 (5522)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食品タンパク質の変性挙動と食品の品質 ○ 食品中機能性成分の加工工程における変化の定量的解析 ○ 食品分散系 (気泡、エマルジョン) の解析
食品化学	准教授 博(農) 伊藤 圭祐 (5543)	<ul style="list-style-type: none"> ○ おいしさの分子設計技術の開発：味と香りのデザイン ○ 新しい機能性食品の開発：身体への味と香りの作用解析 ○ ヒト味覚・嗅覚受容体応答評価システムを活用するフレーバープロファイリング技術の開発
食品物理学	准教授 博(理) 本同 宏成 (5222)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食品の構造、物性評価 ○ 食品素材の結晶成長 ○ 食品の構造制御
食品有機化学	教授 博(薬) 江木 正浩 (5542)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣病予防効果が期待されるファイトケミカルの合成研究 ○ 新規蛍光プローブの創製 ○ 環境に優しい物質変換反応の開発
食品衛生学	教授 博(食品栄養) 増田 修一 (5528)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食環境中に存在する化学物質のリスク評価 ○ 食中毒菌の病原因子発現メカニズム及びその制御 ○ 化学物質と病原微生物の複合暴露による生体影響
*3 生物分子工学		
食品蛋白質工学	准教授 博(農) 伊藤 創平 (5576)	<ul style="list-style-type: none"> ○ AIとゲノムマイニングを活用した新規酵素・蛋白質の開拓 ○ 酵素・蛋白質の改変・修飾による機能拡張と応用展開 ○ 構造生物学的解析による酵素・蛋白質の機能解明

*1：担当教員欄 () 内は各教員室の直通電話番号 (共通：054-264-)。

*2：当該研究室を志願する場合には、専攻長 (熊澤 茂則、電話：054-264-5523, e-mail : kumazawa@u-shizuoka-ken.ac.jp) に御相談ください。

*3：当該研究室は現在募集していません。

静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府研究室案内 [Ⅱ]

専攻名	食品栄養科学専攻	講座名	栄養生命科学大講座
-----	----------	-----	-----------

(2026年4月現在)

研究室名	担当教員 (電話番号)	主な研究内容
栄養化学	教授 博(薬) 三浦 進司 (5559)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動や不活動による骨格筋特性変化の脂質生化学的解析 ○ 筋萎縮を予防する物質の探索とその作用機序の解析 ○ 消化管上皮機能における脂質生化学的解析
生理学	教授 博(食品栄養) 林 久由 (5532)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小腸グルコース吸収輸送の活性調節機序とその生理学的意義の解明 ○ タイト結合部バリアタンパク質の腸管での役割の解明 ○ Na・Cl 輸送体活性調節の分子機構に関する研究
公衆衛生学	教授 博(医) 栗木 清典 (5563)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【データサイエンス】日本多施設共同コーホート研究 (J-MICC Study) 静岡・桜ヶ丘地区: 文部科学省研究費補助金により、日本人の生活習慣と遺伝子 (ヒトゲノム) が病気とどのように関連しているのかを調べる全国研究 (10万人:2035年まで継続)、および、独自研究 ○ 【データサイエンス】わが国の効果的な健康づくり政策を確立する栄養疫学研究 (J-MICC Sakura Diet Study): ヒトゲノム、腸内常在菌プロファイルや尿中メタボローム、赤血球膜脂脂肪酸構成割合など「メガ・データ」を用いて、食生活習慣要因や生活習慣病との関連を検討
栄養教育学	教授 博(医) 桑野 稔子 (5513)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの行動特性と食生活、健康状態との関連および効果的な栄養教育方法の構築に関する研究 ○ 生活習慣病予防・改善のための効果的な健康・栄養教育方法に関する研究 ○ 咀嚼能力とストレス状態、食生活・健康状態に関する研究
臨床栄養学	教授 博(医) 保坂 利男 (5567)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食生活習慣や治療と非感染性疾患 (糖尿病・サルコペニア) または併発症(腎など)の関係の介入・横断・コホート研究 ○ 診療所の栄養指導や特定保健指導における指導実態と対策に関する研究 ○ 糖脂質代謝に対する栄養素/栄養成分のシグナル伝達物質としての役割に関する研究
臨床栄養管理学	教授 博(栄) 新井 英一 (5511)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高リン血症、高尿酸血症などの栄養管理法の構築および栄養指導の効果に関する研究 ○ 24時間蓄尿法を用いた推定栄養素摂取量の把握および血清パラメータに対する食行動の影響に関する研究 ○ ビタミンD代謝動態の評価に関する研究
フードマネジメント	教授 博(栄) 市川 陽子 (5512)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食材の機能性活用をめざすフラボノイドの調理種別変化と摂取後の生体内炎症指標の検討 ○ 特定給食施設等における適切な栄養管理業務の運営に関する研究 ○ フードサービスを介した食環境整備の効果に関する研究
公衆栄養学	准教授 博(生活科学) 串田 修 (5832)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農村における栄養学的な好ましさ ○ 健康な食事に関連する食行動 ○ 地域や自治体の食環境整備

*担当教員欄 () 内は各教員室の直通電話番号 (共通: 054-264-)。

静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府研究室案内 [Ⅲ]

専攻名	環境科学専攻
-----	--------

(2026年4月現在)

コース	研究室名	担当教員 (直通電話番号) *1	主な研究内容
地域・地球環境学コース	大気環境	教授 博(理) *3 雨谷 敬史 (5798)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大気汚染物質の発生、動態、曝露評価に関する研究 ○ 室内空気中の有害物質の計測および除去に関する研究 ○ 多環芳香族炭化水素誘導体の高感度分析法とリスク評価に関する研究
	*2 水質・土壌環境		
	物性化学	教授 博(学) 牧野 正和 (5785)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農薬や防疫用薬剤の分解・変換・代謝生成物の合成と毒性評価に関する研究 ○ リスク評価に基づいた環境汚染物質のリスク低減手法に関する研究 ○ 熱力学的補償と分子構造に関する研究
	植物環境	教授 博(農) 谷 晃 (5788)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大気中に存在する多種の有害ガスの植物による浄化機能の解明と、植物を利用した環境浄化の試み ○ 植物が生産する香り物質であるテルペン類の放出におよぼす環境要因の影響解明と日本での年間排出量の推定 ○ 光や二酸化炭素など栽培環境要因を調節することによる、静岡特産のワサビの生産研究
	環境微生物学	教授 博(理) 谷 幸則 (5797)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金属イオン酸化還元反応の活性を有する微生物の検索と応用に関する研究 ○ 汽水域を中心とした水域の微生物組成と生態系への影響に関する研究 ○ 水産資源生産に影響を及ぼす微生物群に関する研究 ○ 湖沼堆積物中の微生物マーカーによる環境変動に関する研究
	グリーンケミストリー	准教授 博(工) 永井 大介 (5729)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規精密高分子合成法の開発 ○ 高効率で簡便なレアメタル捕集・回収を目指した高分子材料の開発 ○ レアメタルを吸着したポリマーの機能性材料（有機-無機ハイブリッド材料）への応用

環境生命科学コース	*2 生態発生遺伝学		
	光環境生命科学	教授 博(薬) 伊吹 裕子 (5799)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 光老化、光発がんの分子メカニズムに関する研究 ○ 環境因子による老化のメカニズムの解明と抑制方法に関する研究 ○ 環境因子によるクロマチン構造変化と紫外線 DNA 損傷修復に関する研究
	生体機能学	准教授 博(理) 内田 邦敏 (5787)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞、器官、個体における内外環境温度を感じるメカニズムとその意義に迫る研究 ○ 温度センサー分子のエネルギー代謝調節における役割の解明と温度センサー分子を標的としたメタボリックシンドローム発症の予防・治療法確立を目指した研究 ○ 温度センサー分子に対する食品、医薬品など由来の新規リガンドの探索
	環境生理学	准教授 博(理) 田村 謙太郎 (5707)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 植物の環境応答能力を支える細胞小器官の運動・分化・形態形成に関する研究 ○ 過酷な環境下で生育可能な有用植物の開発に関する研究 ○ 消化管粘膜による食品成分及び腸内細菌代謝産物のセンシングと腸管神経・内分泌・免疫系を介した消化管および全身の生理機能調節に関する研究 ○ 消化管の腸内環境センシング機構をターゲットとする創薬に関する基礎研究
	環境工学	教授 博(理) 原 清敬 (5659)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 微生物を用いた食品加工残渣等の持続可能資源(バイオマス)からの有用物質生産に関する研究 ○ 細胞内エネルギーに関する基盤的研究とその改変による有用物質生産性の向上に関する研究 ○ 微生物を用いた機能性物質(機能性食品素材・サプリメント・飼料補助剤・植物活性化剤・医薬品・化粧品など)の発酵生産に関する研究 ○ 海洋資源や海洋微生物を利用して有用物質を生産するマリンバイロテクノロジーに関する研究

* 1 : 担当教員欄 () 内は各教員室の直通電話番号(共通: 054-264-)。

* 2 : 当該研究室は現在募集していません。

* 3 : 2029年3月 退職予定、当該研究室を志願する場合には専攻長(谷 幸則、e-mail: taniy@u-shizuoka-ken.ac.jp)に御相談ください。

静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府研究室案内 [IV]

専攻名	薬食生命科学専攻
-----	----------

(2026年4月現在)

研究室名	担当教員 (電話番号) *1	主な研究内容
微生物学	教授 博(医) 永井 重徳 (5553)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 微生物による (アレルギー等の) 免疫疾患制御 ○ 微生物による免疫抑制関連分子の発現制御 ○ 敗血症後の免疫機能不全 (免疫麻痺) における免疫細胞の動態制御
食品生命情報 科学	准教授 博(理) 中野 祥吾 (5582)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次世代素材となる人工蛋白質創出を可能とするインシリコ技術開発 ○ 実験-情報技術を融合した手法による新規ファインケミカル合成法の確立 ○ 産業応用酵素の構造機能解析と計算化学解析
長寿生化学	教授 博(農) 三好 規之 (5531)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 機能性食品成分の代謝・動態・作用機序解析 ○ 腸内細菌代謝に由来する尿毒症物質の産生制御 ○ 生体試料分析によるバイオマーカー分子の探索と同定
*2 栄養生理学		
*2 人類遺伝学		

* 1 : 担当教員欄 () 内は各教員室の直通電話番号 (共通 : 054-264-) 。

* 2 : 当該研究室は現在募集していません。

試験会場案内 静岡県立大学<草薙キャンパス>



静岡県立大学 草薙キャンパス

●静岡までのアクセス

- 東京から：東京→静岡 約1時間
- 名古屋から：名古屋→静岡 約1時間
- 大阪から：新大阪→静岡 約2時間
- (いずれも「新幹線ひかり号」を使用した場合)



●最寄り駅からのアクセス

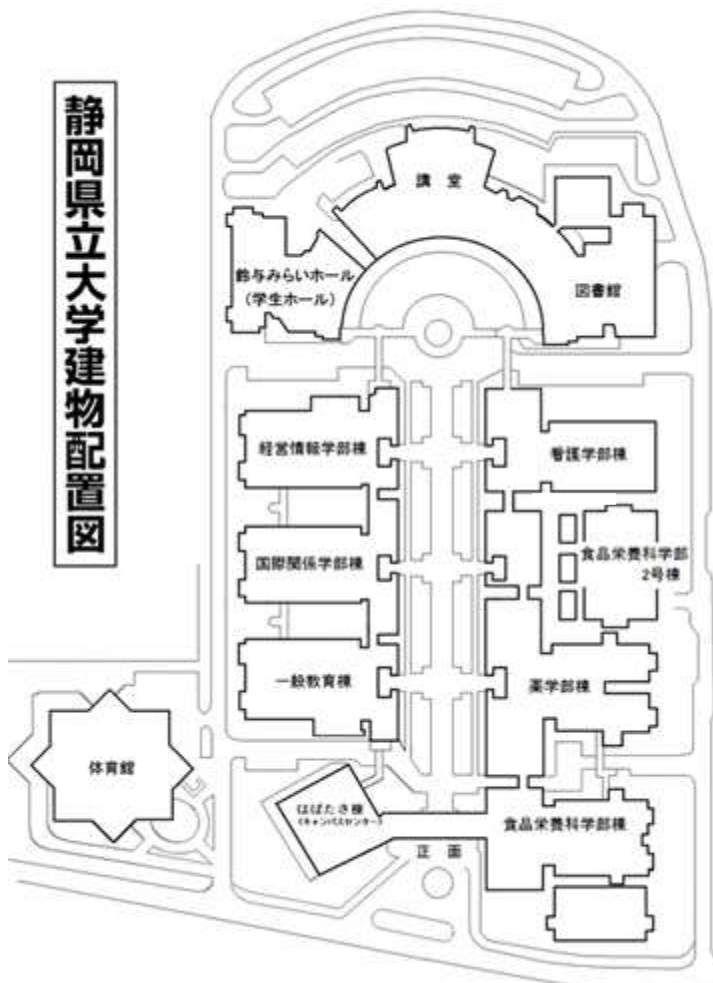
草薙キャンパス

電車 JR東海道線「草薙駅」南口（県大・美術館口）下車、徒歩15分
静岡鉄道「県立美術館前駅」または「草薙駅」下車、徒歩15分

バス 静鉄バス JR「草薙駅」（県大・美術館口）
バス停から草薙団地行き（三保草薙線）で
「県立大学入口」下車、徒歩5分
※平日の午前のみ、「県立大学前」下車が可能（徒歩0分）
構内への自動車、バイクの乗り入れ禁止。自転車は可。

静岡県立大学
静岡市駿河区谷田52-1
☎ (054)-264-5007

静岡県立大学建物配置図



駅からのアクセス方法

《入学者選抜試験に関する問い合わせ》

静岡県立大学学生部入試室（平日9:00～12:00、13:00～17:00）

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

TEL (054)264-5007 FAX (054)264-5199

メールアドレス: nyus@u-shizuoka-ken.ac.jp

ホームページ: <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

よくあるご質問: <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/faq/>

薬食生命科学総合学府

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/faculties/graduate-ipns/>